

ラダー体系



臨床実践能力段階	経験年数	到達レベル内容
レベルⅠ-①	新卒者	基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する
レベルⅠ-②	卒後2年目 既卒新採用者	基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する
レベルⅡ	卒後3年目 以降	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
レベルⅢ	卒後5年目 以降	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
レベルⅣ	卒後10年目 以降	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
レベルⅤ	卒後15年目 以降	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する